

みんなの健康ラジオ

『難聴をあきらめないで、補聴器を使って
聞こえる楽しい人生を』

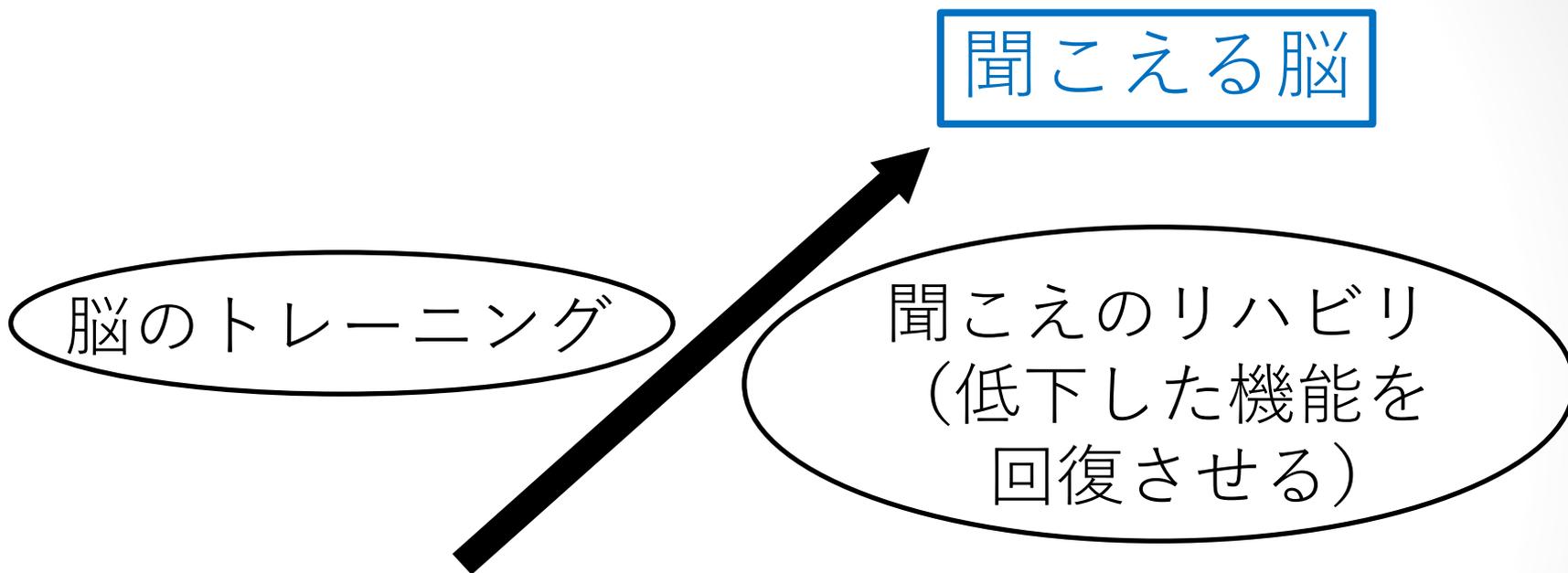
(2025年6月26日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

けいゆう病院耳鼻咽喉科

山田浩之

どうすれば補聴器を使えるようになる？

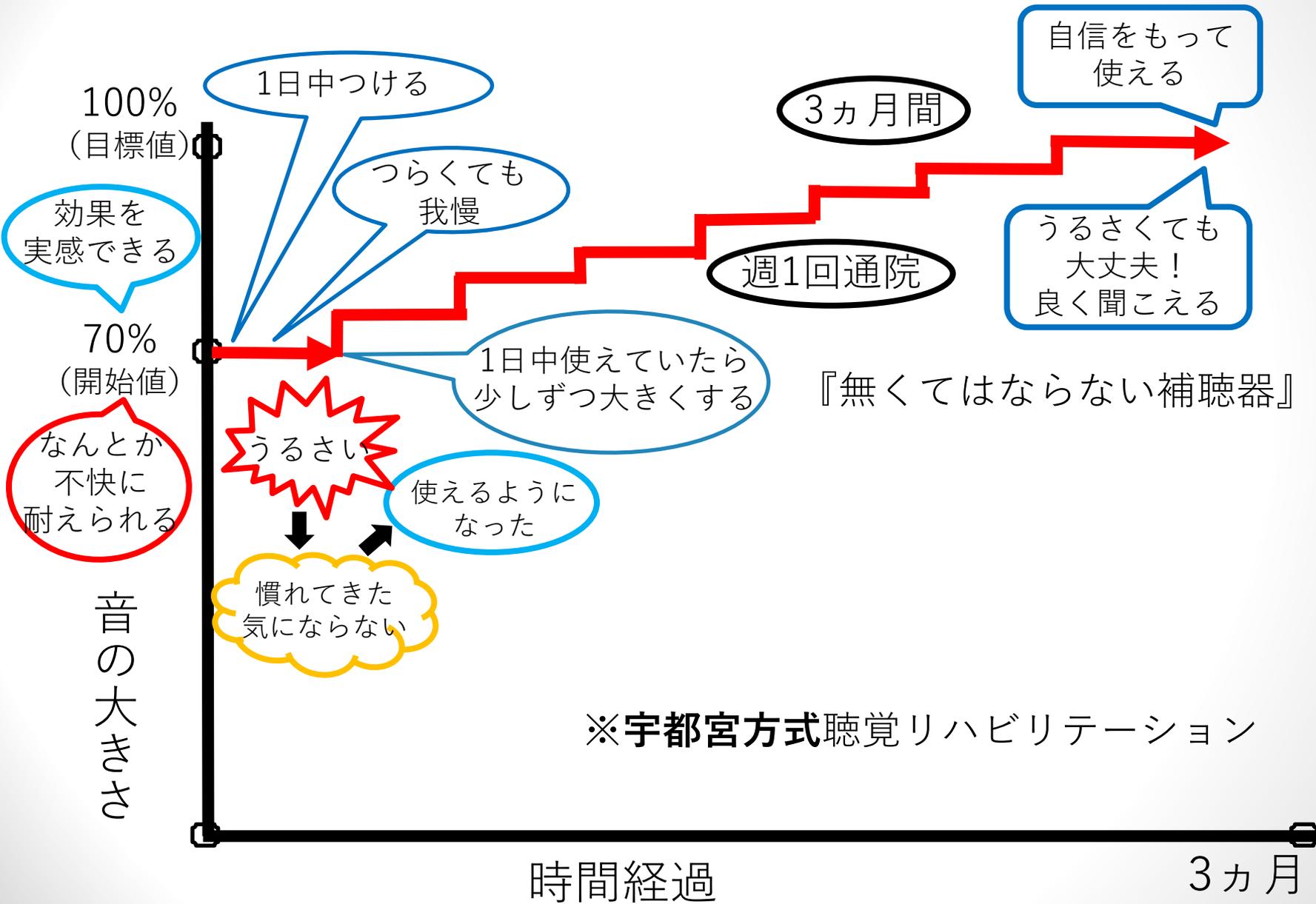


難聴の脳

- 最初は弱めの設定から
- うるさくても慣れてくる
- 最初から長時間使う
- 少しずつ音に脳を慣らす
- 時間をかけて脳を慣らす

医療従事者にしかできないリハビリテーション

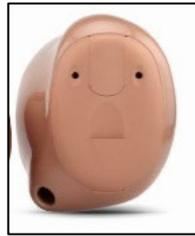
けいゆう病院で行っている補聴器リハビリ



補足① 主な補聴器のタイプと市場シェア



耳かけ型
19%



耳あな型
28%



RIC型
43%

Japan Trak 2022 より

耳かけ型：適応聴力の幅が広く、全ての難聴者が対象。やや大きくて目立つが、形式選択の基本。操作がしやすいし、安定性もあり、落としにくい。**万能補聴器**。

耳あな型：適応聴力の幅は狭く、中等度難聴まで。小さく、操作しにくいのがコロナ禍においてマスクの常用のため、需要が増加した。

RIC型：小さくて目立たず、付け心地が軽いため人気だが、中等度以上の難聴者には合わないことも多い。見た目も良く、補聴器販売店では顧客に薦めやすい。

自分の聴力に見合った出力（パワー）の補聴器を選択することが重要です。

補聴器の耐久年数は**5-6年**。加齢性難聴は**進行する**ため、**ゆとりを持った選択**が必要

補足② 両耳に補聴器をつけるメリット

- ・ 雑音下における言葉の聞き取り（趣味の教室やレストランでの会話）
 - ・ 集団場面における言葉の聞き取り（会議や食卓での会話）
 - ・ 音の方向感（自動車の接近の察知）
 - ・ 音の距離感（鳴っている電話の位置確認）
 - ・ 音の立体感（演奏会や演劇鑑賞）
- ※ 静かな環境での1対1の会話やテレビ視聴であれば片耳装用でも対応は可能

まずは両耳装用で始めてみる。最初は不快なこともありますが、時間がたち、慣れてくれば両耳装用のよさが分かってきます。

補足③ 補聴器が必要な人とは

難聴により生活に不自由があり、改善したい意志がある人

※難聴があっても生活のスタイルによっては不自由を感じていない人もいる

例) 複数の家族と同居して一緒に食事をしたりテレビを見たりしており、会話に参加出来なかったり、テレビの音が大きいと言われる。仕事や活動、趣味などで人と話す機会や集まる機会が多く、様々な場面で難聴による不自由を感じている人。

⇒リハビリも目標を持って頑張れるし、補聴器により生活の質が大きく改善する

例) 独居で、仕事は引退しており、趣味や活動なども特になく、外出は買い物に行く程度。テレビも大きな音で聞いている、日常生活に不自由を感じる人が少ない人。

⇒不自由がなければリハビリも頑張れないし、補聴器を購入しても使わなくなってしまう

認知症予防のために補聴器を購入しても、使わなければ意味がない

補聴器を考えるタイミングは、難聴により日常生活に不自由が多く、困ることが増えてきたころ。お近くの耳鼻咽喉科医院で相談を。

補足④ 補聴器リハビリの実際（典型例）

補聴器開始 初日～数日

言葉の聞き取りはよくなり、テレビの音量も下がったが、とにかくいろいろな音がうるさい。自分の声や周りの音、道路の自動車の音や工事の音、駅のアナウンス、スーパーなど。我慢できなくはないが、とにかく不快。

補聴器開始 1週間～2週間

自分の声の大きさには慣れたが、食事の時の噛む音が気になる。食器がカチャカチャいう音や水道がシンクにあたる音、換気扇の音、紙がこすれる音がとても気になる。ただいろいろな音に驚かなくなった。聞こえることはうれしい。

補聴器開始 1か月

補聴器の音にだいぶ慣れてきた。家にいるときはほとんど不快なことはない。今まで聞こえなかった鳥や虫の鳴き声や電化製品のお知らせ音が聞こえるようになり、うれしい。外出すると電車やバス、買い物のはうるさいけど、そんなものかな？

補聴器開始 3か月

補聴器が無いと聞こえなくて不安。補聴器をつけていることが当たりまえかな？自信を持って会話もできるし、習い事も楽しくなってきた。会議や食事会でも補聴器がないと困る。うるさい音はまだあるけど、みんなうるさく思っているような音。